

案

令和〇年〇月〇日

嬉野市長 村上 大祐 様

嬉野市塩田庁舎等利活用検討委員会  
委員長 渡利 和之

嬉野市塩田庁舎等利活用検討委員会における検討結果について（報告）

本検討委員会では、昨年1月より7回の委員会を開催し、嬉野市塩田庁舎等利活用検討委員会設置条例第2条の規定により、塩田庁舎等の利活用及びその他塩田庁舎等の利活用に必要な事項に関することについて、慎重に協議・検討を行ってまいりました。

その結果として、塩田庁舎等の利活用に係る基本理念・方針、新しい施設整備に求められるコンセプト及びその導入機能のイメージについて、本検討委員会における意見をとりまとめましたので、その主旨を下記のとおり報告いたします。

なお、本検討委員会における協議・検討の経過や内容、各委員から出された様々な意見や要望、本検討委員会で用いた資料等については、別紙報告書としてまとめておりますので、併せて提出いたします。

市当局におかれましては、本検討委員会の報告内容を十分に踏まえ、今後の塩田庁舎等利活用に係る基本計画策定に活かしていただくとともに、さらに熟議を重ねられ、基本理念である「人と人がつながり、つながりつづけていく地域、塩田地区の新たな賑わいの創出」に向けた施設整備が実現されますよう強く要望いたします。

## 記

### 【協議・検討内容】

- 庁舎等の利活用に関して、まず「知る」という視点から、他自治体の活用事例について意見交換を行うとともに、「学ぶ」という視点から、講師を招いて公共施設のマネジメントに関する講演会を開催しました。
- 広く住民の意見を把握することを目的に、塩田地区住民を対象とした市民アンケート及び塩田中学生へのアンケートを実施するとともに、中学生以上を対象に一般公募による市民ワークショップを行い、塩田庁舎等利活用に係る関係者意見として集約し、結果の分析を行いました。
- 塩田庁舎等を取りまく概況や、関連する計画及び関係者意見の分析結果を踏まえ、塩田庁舎等利活用に取り組むにあたっての基本となる考え方を「基本理念」としてまとめるとともに、利活用の基本方針を定め、どのような施設づくりをすべきかを「基本コンセプト（案）」として整理し、新しい施設整備に求められる機能を「導入機能イメージ」としてまとめました。

### 【協議・検討結果】

#### 1. 関係者意見について

- 市民アンケートは、塩田地区の全世帯を対象に塩田庁舎の利活用や庁舎周辺の将来像などの把握を目的として実施しました。また、アンケートは世帯に同居されている家族の意見も伺えるよう工夫し、広く意見の集約を行いました。

意見としては、塩田庁舎周辺の将来像については、世代による分散はあるものの「健康づくり・子育て環境づくり」「にぎわいづくり」「伝統・文化・芸術」「住民同士の交流」のそれぞれが重要と考えられており、特に「健康づくり・子育て環境づくり」に関しては女性の意見が多くありました。同様に、塩田庁舎の利活用でも、「集客施設への活用」「産業振興施設への活用」「子育て支援サービスの集約」「住民の活動拠点への活用」がそれぞれ重要とされる中、特に女性において「子育て支援サービスの集約」を望む声が多くありました。
- 中学生アンケートは、隣接する塩田中学校の全生徒に対して実施しました。その中で、塩田町で特に取り組むべきだと思えるイメージとして「観光客を増やす」「歴史や伝統の保存」「企業や店舗の誘致」「住民参加のイベント」など地域に目を向けると同時に、「子供の遊び場」「買い物環境の充実」「スポーツ施設」など生活環境の充実に関する意見が多くありました。
- 市民ワークショップは、中学生以上を対象に公募形式で実施しました。実施にあたり、塩田中学校や嬉野高校塩田校舎に声をかけたほか、市民アンケートを受けて「健康づくり・子育て環境づくり」「にぎわいづくり」「伝統・文化・芸術」「住民同士の交流」に関わる関連団体などに声をかけながら参加者を募り、26名の市民に参加して頂きました。

ワークショップでは、「塩田庁舎と周辺公共施設を有効活用した、新しい時代に合ったまちづくりの方向性を明らかにする」ことを目標として掲げ、3回に分けて実施しました。

- 第1回の「施設探検」では、3階からの眺望など塩田庁舎の良さを再発見したほか、施設の老朽化や施設整備の必要性などへの意見がありました。
- 第2回の「地域の理想を語る」では、個人の集まりが地域になるという考え方を基本として、自分事として地域の将来について考え合いました。
- 第3回の「塩田地域に必要・充実させたい場所や機能」では、求める機能について、自分ならどう使うという視点で自由に意見を出し合いました。

今回のワークショップを通じて、「各グループで中学生・高校生との交流を望む声が多かった」ことや「人と人のつながりが重要である」という意見は特に多く、将来を担う若い世代に良い環境を残していきたいという考え方はグループを超えて共通していたと思われまます。

## 2. 基本構想について

基本構想の基本的な考え方として、塩田庁舎及び周辺公共施設を取り巻く概況や上位計画における考え方、アンケート結果による利活用の方向性、まちづくりの課題等を踏まえ、利活用の検討にあたっては、「地域から切り離して個別に検討するのではなく、地域における構成要素の一つとして捉え、地域へいかに貢献するかという観点から検討すべきであり、活用の方向性としては、多くの人が集まり交流するような賑わいをつくるのが重要」と整理しました。

その上で、塩田庁舎等の利活用に取り組む上での基本的な考え方を示す「基本理念」を以下のように定義しました。

### 「基本理念」

「人と人がつながり、つながりつづけていく地域、  
塩田地区の新たな賑わいの創出」

この「人と人がつながり、つながりつづけていく」というキーワードは、市民ワークショップの意見から採用しています。

そして、利活用の「基本方針」として、「近隣の住民の生活拠点のよりどころはもとより、他市からの来訪者を呼び込めるような空間とし、子どもから高齢者まで、多世代の人々はその空間で憩い・交流することを中心とした「つながり」・「賑わい」を創出するもの」として整理し、以下の4項目を定めました。

### 「基本方針」

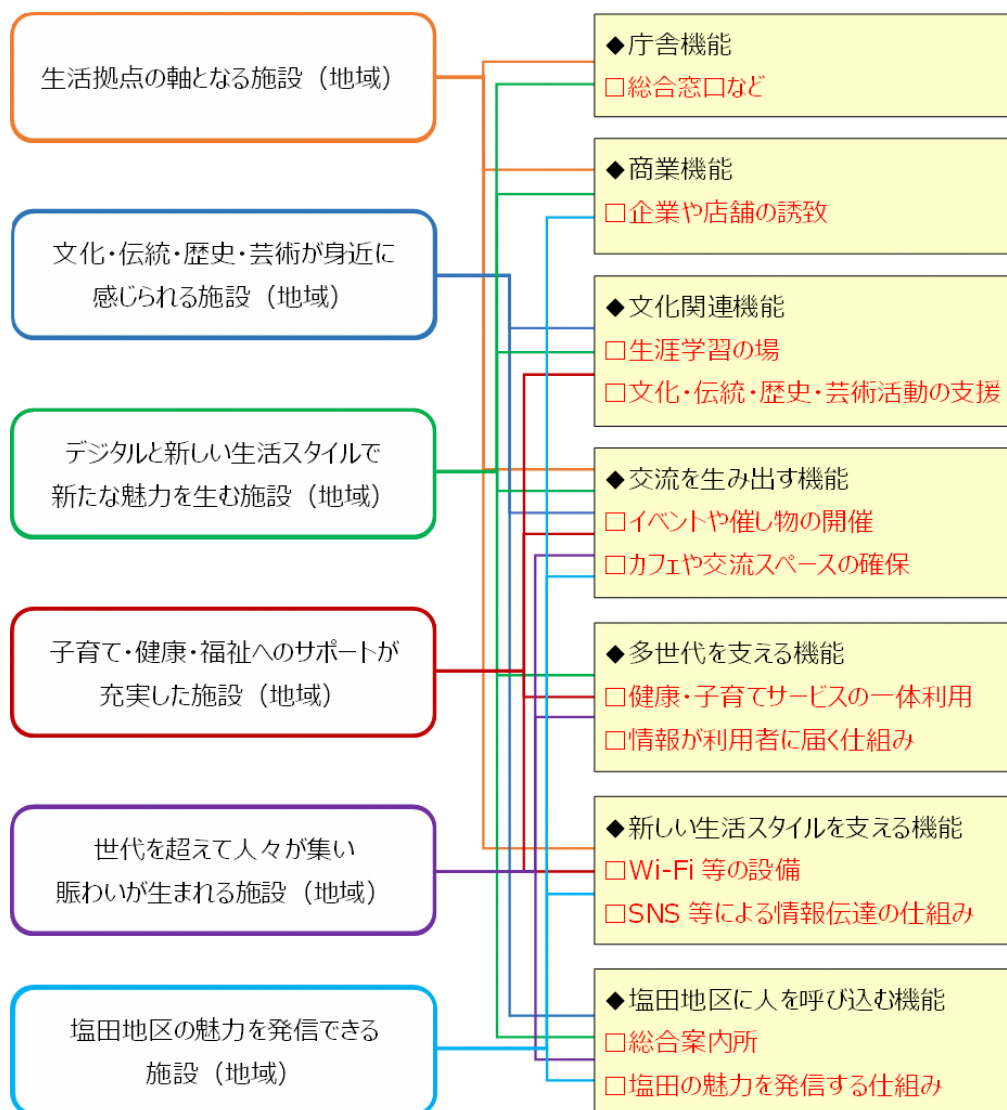
- ◆ 気軽に「集う」「憩う」場
- ◆ 多様な生涯教育を通じて「学ぶ」「育む」場
- ◆ バリアなく「出会う」「触れ合う」場
- ◆ 未来につながる文化・伝統・歴史・芸術の担い手を「育てる」「継承する」場

さらに、塩田庁舎及び周辺公共施設を利活用する上での新たな役割や機能について、新しい施設（地域）整備にあたっての基本コンセプト（案）を定め、以下の6項目に整理しました。

### 「地域の魅力が創出され、世代を超えた地域交流拠点」

- ◆ 生活拠点の軸となる施設（地域）
- ◆ 文化・伝統・歴史・芸術が身近に感じられる施設（地域）
- ◆ デジタルと新しい生活スタイルで新たな魅力を生む施設（地域）
- ◆ 子育て・福祉へのサポートが充実した施設（地域）
- ◆ 世代を超えて人々が集い、賑わいが生まれる施設（地域）
- ◆ 塩田地区の魅力を発信できる施設（地域）

また、それぞれに関連する具体的な導入機能のイメージを想定しました。



### 3. 検討委員会の開催経緯

「検討委員会」及び「住民意向調査」並びに「市民ワークショップ」は以下の日程で実施しました。

年度	月	検討委員会		アンケート	ワークショップ
		開催日	検討内容		
令和4年度	1月	第1回 1月19日	・趣旨、概要説明 ・委員会スケジュール説明 ・庁舎等利活用参考事例紹介		
	2月	第2回 2月16日	・公共施設マネジメント講演会の実施 講師 前橋工科大学 堤准教授		
	3月	第3回 3月28日	・塩田庁舎等利活用に係る条件の整理 ・市民アンケート（案）の検討		
令和5年度	4月 5月			4月14日～5月12日 市民アンケート実施	
	6月	第4回 6月30日	・市民アンケート結果の報告 ・市民ワークショップの概要説明 ・中学生アンケート（案）の検討		
	7月			7月20日 中学生アンケート実施	第1回（7月30日） 「塩田庁舎と周辺公共施設を探検しよう」
	8月				第2回（8月27日） 「地域の理想を語ろう」
	9月				第3回（9月24日） 「塩田地域に必要・充実させたい場所や機能を考えよう」
	10月	第5回 10月30日	・市民ワークショップ結果の報告 ・中学生アンケート結果の報告 ・基本構想の構成（案）の説明		
	11月	第6回 11月27日	・基本構想について協議		
	12月	第7回 12月27日	・検討結果のとりまとめ		

#### 4. 検討委員会名簿

職	氏名	所属等名
委員長	渡利 和之	特定非営利活動法人 リデザインマネジメント研究所 (RDM ラボ)
副委員長	坂口 典子	嬉野市社会福祉協議会からの推薦
委員	田島 洋文	嬉野市商工会からの推薦
委員	森 四朗	嬉野市文化連盟(塩田支部)からの推薦
委員	永田 由美	嬉野市教育委員会からの推薦
委員	森 聡子	特定非営利活動法人 塩田津街並み保存会からの推薦
委員	久野 博美	特定非営利活動法人佐賀県放課後児童クラブ連絡会 嬉野市こどもセンターLykke〈リュッケ〉
委員	尾形 安広	五町田地区地域コミュニティ運営協議会からの推薦
委員	宮崎 秀文	五町田地区地域コミュニティ運営協議会からの推薦
委員	田中 昌弘	久間地区地域コミュニティ運営協議会からの推薦
委員	前田 直	久間地区地域コミュニティ運営協議会からの推薦
委員	川原 正文	塩田地区行政区長代表からの推薦
委員	中村 幾久子	塩田地区行政区長代表からの推薦
委員	田中 均	大草野地区地域コミュニティ運営協議会からの推薦
委員	諸岡 博子	大草野地区地域コミュニティ運営協議会からの推薦

## 5. 提出資料

- 嬉野市塩田庁舎等利活用検討委員会報告書（基本構想）
- 塩田庁舎等利活用基本構想概要版

## 6. 基本計画に向けて

基本構想では、市民の意見を踏まえ、塩田庁舎等利活用の基本理念やコンセプトや必要な機能についてとりまとめました。今後は、利活用の具体化や実現に向けた事業化の検討を踏まえ、塩田庁舎等利活用における諸室・設備の概要や施設の運用方針、提供サービスの概要などを基本計画としてとりまとめていきます。

今後の基本計画検討にあたっては、塩田庁舎及び周辺公共施設の一体的な整備に加え、リバティや楠風館など、類似・代用機能を持つ施設も含めた総合的な機能再編の検討も必要であることから、行政だけではなく民間活力の導入による事業の検討なども重要となることが想定されますので、基本計画策定においても、本検討委員会での協議・検討を踏まえ、幅広い意見の集約に努めていただきたいと思います。